

質問事項	質問の要旨
1 データセンターの誘致について	<p>(1) 近年、A Iはイノベーションの加速とリスクへの対応などが複雑に絡み合いながら急速に拡大しており、総務省はA Iの普及によるデータセンター需要拡大やリスク分散も含めて、地方分散を進めています。</p>
	<p>現在、北海道石狩市や千葉県印西市などを中心に全国でデータセンターの整備や誘致、開設が進められており、誘致した自治体は、地域の活性化や雇用の創出にもつながると期待を寄せています。</p>
	<p>データセンターを地方へ分散させる国の動きや今後の需要拡大について、どのように認識しているか見解を伺います。</p>
	<p>(2) 原発立地自治体では、安価で安定的な電力供給をセールスポイントにデータセンターを誘致している自治体も少なくありません。福井県高浜町や佐賀県玄海町などでは既に建設されており、本町としても、廃校の利活用なども含めて、企業と連携しながらデータセンターを誘致する考えはあるのか見解を伺います。</p>
	<p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2 新たな養殖魚種への 共同研究について</p>	<p>全国各地で海水温の上昇などによる不漁が続いており、本町でも被害は深刻な状況です。対策として、新たな養殖魚種へのチャレンジに向けた漁協との連携、九州のサバ養殖施設の視察などが行われており、ほかにも、地域おこし協力隊員によるトリガイの種苗生産を目指すための研究などの模索が続いています。</p> <p>本町に適した養殖魚種を探すうえで、科学的知見に基づいたデータ収集及び研究が必要だと認識しています。研究を進めるため、豊富な設備・人材・経験を有する東北大学大学院農学研究科との連携を深めることが重要であり、これまでの連携協定で培ったマナマコ種苗採取の知見を活かしつつ、新たな養殖魚種の共同研究を進めることが有効と考えますが見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 図書室運営について	<p>現代社会では、あらゆる分野でデジタル化が新たな変革をもたらしています。</p>
	<p>図書室運営においても、サービス向上や業務の効率化を目的にデジタル書籍の貸し出し、AI技術による選書蔵書管理なども行われ、利用者の利便性向上や職員の負担軽減につながっています。</p>
	<p>今後は、少子高齢化や生産年齢人口の減少に伴い、図書室運営に携わる人材の確保が難しくなるとも言われています。</p>
	<p>まず、図書室蔵書検索システムの導入から着手するなど、DXを推進することがこれからの時代を見据えて必要と考えますが見解を伺います。</p>
	<p>(質問の相手：町長、教育長、担当課長)</p>